

令和5年度(令和6年度実施)事務事業評価

事業整理番号 0107 - 01

事務事業名	テレビ広報番組制作経費(区情報番組における発信力のさらなる強化)	担当組織	政策経営部	広報課
-------	----------------------------------	------	-------	-----

事業特性											
事業を構成する予算事業	事業開始年度	30年度以前	事業終了年度		計画ノ一般	一般	計画事業No.				
	単独ノ補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託	関連するSDGsゴール	4	8	10			
	①	テレビ広報番組制作経費			②						
	③				④						
	⑤				⑥						

政策体系(令和5年度基本計画)											
地域づくりの方向	【体系外】新たな行政経営				政策						
施策					政策番号						
関連する個別計画					計画策定年度		計画期間				

1. 事業の概要・指標の達成状況											
(1)実施の対象(具体的に記載)	としまテレビ(CATV)のコミュニティチャンネルを視聴できる区民										
(2)事業の目的・期待する効果	区内ケーブルテレビ網を活用し、区の施策や事業など、幅広い区政情報を区民に分かりやすく伝える。										
(3)事業概要	幅広い区政情報を発信するため、区内ケーブル会社のサテライトスタジオを活用し、火・水曜日を除く週5日間、生放送番組を制作し放送する。放送後の番組を区公式youtube「ななまるチャンネル」で発信する。										
(4)目標の達成状況	5年度の取組内容 5年度に実施した具体的な業務内容	4年度より新設した最新情報をお伝えするコーナーで情報発信を行い、また区長や所管課長が自ら番組に出演して、区が目指すまちづくりをわかりやすく放送した。さらに、区長記者会見を5年度では8回実施し、当日の映像を視聴しやすいよう編集して、手話付きでyoutubeに発信した。									
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)		5年度(実績)	(達成率)	6年度(計画値)	
		① 動画配信サイトの再生回数	↗	件	139,216	160,000	164,556	102.8		165,000	
		②									
		③									
(5)取組実績	指標の説明	ケーブルテレビにおける番組視聴率の把握は困難であるため、代替的な指標として、番組の配信を行っている「動画配信サイトの再生回数」を成果指標として設定した。									
	達成状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
	活動指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)		5年度(実績)	(達成率)	6年度(計画値)		
(5)取組実績	活動指標 事業の実施状況	① ニュースフラッシュコーナー イベント・事業告知数	↗	回	240	245	243	99.2		245	
		② 区公式Youtube 動画配信件数	→	件	225	240	245	102.1		240	
		③									
(5)取組実績	指標の説明	活動量を測る資料として、ニュースフラッシュコーナーにおけるイベント・事業告知数を設定した。									
	達成状況	一部未達成	①の指標について、毎週5、6件ほど告知していたが、1・2月のイベント等の閑散期には毎週4、5件に減ったため								

2. 事業費の推移											
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)		4年度		5年度			6年度				
		予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R5決算比)			
事業費		A	22,699	22,584	22,713	22,713	100.0%	23,378	665		
財源内訳	国、都支出金	B							0		
	使用料・手数料								0		
	地方債・その他		2,640	2,640	2,640	2,640		2,640	0		
	一般財源	C=A-B	—	19,944	—	20,073		20,738	665		
正規職員人数※小数点第1位まで			0.8	名	1.2	名		1.2	名		
会計年度人数※小数点第1位まで			0.1	名	0.1	名		0.1	名		

3. 総合評価及び令和6年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和5年度成果と課題	【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価	A	根拠	各課の情報を入手次第、社会情勢を踏まえ番組構成を適宜見直しながら放送。周知徹底を図るため同内容を当日と翌日に4回放送。区長記者会見動画に手話を取り入れ、聴覚障害者も含めて区政の重要課題を発信できた。																																												
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。																																															
(2)業務(事務)改善にむけての取り組み	①目標に対する成果状況を踏まえた課題																																															
	最新情報をニュースフラッシュで伝えるにあたり、各課から情報が中々集まらない点が課題となっている。現状広報課より各課へ広報する情報がないか、逐一確認を行っている。																																															
	②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)																																															
	ニュースフラッシュへの情報提供をきっかけとして各課との連携が進み、積極的な情報発信の意識を醸成できた。各課担当者より「当コーナーで告知したおかげでイベントの参加者が例年より増えた」などの感想があった。																																															
	【業務(事務)改善に向けての取り組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒																																															
	A																																															
	根拠																																															
	各課及び事業者と適宜連絡を取り合い、区の最新情報を提供できているため。																																															
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。																																															
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)																																															
最新情報をニュースフラッシュで伝えるにあたり、各課から情報が中々集まらない点が課題となっている。現状広報課より各課へ広報する情報がないか、逐一確認を行っている。																																																
②現状の実施状況における所管課の認識																																																
<table><tr><td>事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。</td><td>無</td><td>選択した理由</td><td colspan="2">「有」の場合は対応策も記載。</td></tr><tr><td>直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。</td><td>有</td><td>選択した理由</td><td colspan="2">技術的に必要な部分の委託を行っている。</td></tr><tr><td>サービスに係るコストは適正か</td><td>適正</td><td>選択した理由</td><td colspan="2">見積後、金額の精査を行っている。</td></tr><tr><td>統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。</td><td>無</td><td>(有の場合)事業名</td><td colspan="2"></td></tr></table>					事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択した理由	「有」の場合は対応策も記載。		直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択した理由	技術的に必要な部分の委託を行っている。		サービスに係るコストは適正か	適正	選択した理由	見積後、金額の精査を行っている。		統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																										
事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択した理由	「有」の場合は対応策も記載。																																													
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択した理由	技術的に必要な部分の委託を行っている。																																													
サービスに係るコストは適正か	適正	選択した理由	見積後、金額の精査を行っている。																																													
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																																														
③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況																																																
<table><tr><td>対応、改善を既にを行った</td><td>はい</td><td>はい</td><td>取組内容及び効果</td><td>令和5年度は、ニュースフラッシュ自体の告知を毎月行い、各課からの情報提供を促した。その結果、毎月2、3件⇒5、6件程度情報が集まるようになった。</td><td>予算措置</td><td>有</td></tr><tr><td colspan="7">はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)</td></tr><tr><td>対応、改善の予定</td><td>有</td><td>無</td><td>対応、改善の予定がない理由</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>有</td><td>対応、改善の内容</td><td colspan="3">各課から広報課へ情報提供がスムーズに行われるように、さらなる当コーナーの浸透を図る。また旬の広報情報は広報課でももらさず順次告知を行う。</td><td>予定時期</td><td>2025年3月</td></tr><tr><td></td><td>予算措置</td><td>無</td><td>有</td><td>予算措置を伴わない実施との比較検討</td><td>予算措置を伴う理由</td><td></td></tr></table>					対応、改善を既にを行った	はい	はい	取組内容及び効果	令和5年度は、ニュースフラッシュ自体の告知を毎月行い、各課からの情報提供を促した。その結果、毎月2、3件⇒5、6件程度情報が集まるようになった。	予算措置	有	はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)							対応、改善の予定	有	無	対応、改善の予定がない理由				有	対応、改善の内容	各課から広報課へ情報提供がスムーズに行われるように、さらなる当コーナーの浸透を図る。また旬の広報情報は広報課でももらさず順次告知を行う。			予定時期	2025年3月		予算措置	無	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由										
対応、改善を既にを行った	はい	はい	取組内容及び効果	令和5年度は、ニュースフラッシュ自体の告知を毎月行い、各課からの情報提供を促した。その結果、毎月2、3件⇒5、6件程度情報が集まるようになった。	予算措置	有																																										
はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)																																																
対応、改善の予定	有	無	対応、改善の予定がない理由																																													
有	対応、改善の内容	各課から広報課へ情報提供がスムーズに行われるように、さらなる当コーナーの浸透を図る。また旬の広報情報は広報課でももらさず順次告知を行う。			予定時期	2025年3月																																										
	予算措置	無	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由																																											
(3)必要性/優先度	【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒																																															
	B																																															
	根拠																																															
	インターネットに不慣れな方々に対し、より新しい区政情報を発信するツールとして重要な番組である。																																															
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。																																															
①区が実施する理由(複数選択可)																																																
<table><tr><td>区民の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック</td><td colspan="4">法律の要請を受けて行う事業である。</td></tr><tr><td>民間事業者等に同様のサービスがない。</td><td colspan="4">○ その他(理由) 区政情報を発信するツールとして重要な番組であるため。</td></tr></table>					区民の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	法律の要請を受けて行う事業である。				民間事業者等に同様のサービスがない。	○ その他(理由) 区政情報を発信するツールとして重要な番組であるため。																																					
区民の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	法律の要請を受けて行う事業である。																																															
民間事業者等に同様のサービスがない。	○ その他(理由) 区政情報を発信するツールとして重要な番組であるため。																																															
②区民ニーズ																																																
<table><tr><td>区民ニーズを表す指標</td><td>有</td><td>有</td><td>指標番号(成果)</td><td>①</td><td></td><td>指標番号(活動)</td><td>①</td><td></td><td>サービス利用者数</td><td>50名以上</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>推移</td><td>↗</td><td></td><td>推移</td><td>↗</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="11">有・無どちらも</td></tr><tr><td>区民ニーズに対する認識</td><td colspan="10">としまテレビに確認したところ、主に高齢者によるニーズが一定量あると推測される。</td></tr></table>					区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(成果)	①		指標番号(活動)	①		サービス利用者数	50名以上				推移	↗		推移	↗				有・無どちらも											区民ニーズに対する認識	としまテレビに確認したところ、主に高齢者によるニーズが一定量あると推測される。									
区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(成果)	①		指標番号(活動)	①		サービス利用者数	50名以上																																						
			推移	↗		推移	↗																																									
有・無どちらも																																																
区民ニーズに対する認識	としまテレビに確認したところ、主に高齢者によるニーズが一定量あると推測される。																																															

総合評価(d)=a+b+c	ランク2
---------------	------

4.【前年度事務事業評価対象事業のみ】改善に向けた取組内容について

(前年度事務事業評価表) 4「所管課の認識・R5年度以降の対応」を記載	テレビ広報は昨年度より最新情報をお伝えするコーナーを設け、今年度からは区長や所管課長が出演して、区が目指すまちづくりを説明する番組を毎月放映するなど、改善を積み重ねてきている。情報の入手手段が多様化する中、今後とも様々な広報媒体を連携させながら、よりわかりやすく、区民の皆さまに「伝える」だけでなく、「伝わる」広報を目指していく。 また、災害時の情報発信や友好都市との情報交流についても、区民の皆さまに適時適切にお伝えできるよう検討を重ねていく。		
上記の改善に向けて取り組んだ内容を記載(未着手の場合には理由を記載)	広報としまや区のプレスリリース等、他広報媒体と情報連携を行っている。令和5年度は、区長が新たな区政運営の方針や重要施策を自ら出演して発信、また所管課長が出演して「区民に身近な区役所」への第一歩として施策をわかりやすく、かみ砕いて説明することで、「伝わる」広報を行った。 また、災害時の情報発信について、令和5年度では年3回打ち合わせをして発信・放送の検討を進めた。さらに、友好都市の情報について、ニュースフラッシュコーナーで、令和5年7月に姉妹友好都市の箕輪町、令和6年1～2月にかけて姉妹都市の秩父市などの情報発信を行った。		
改善に向けた取組内容についての自己評価 (e)	予定通りに進んだ	根拠	としまテレビ担当ディレクターと毎月定例的に集まり、作業の進捗や課題の共有等を行うことで、区側ととしまテレビ側で細かに情報共有し、予定通りに進めることができた。

5. 令和6年5月末時点の状況

①令和6年度当初の課題・ニーズ	①通常時の生放送番組については、引き続き区の施策や事業など、幅広い区政情報を区民に分かりやすく伝える方法を検討しながら放送を行う。 ②災害時にケーブルテレビと連携した情報発信検討を進めている。
②国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	①②なし
③令和6年度の方針・取組方針(事業展開)	①所管課長が月に1回程度当番組に出演し、予算重点事業を中心に説明、紹介を行っている。 ②災害時の有効な情報発信について、前年度より具体的にL字システムの導入に向けたシステムの仕様の精査等、としまテレビと検討を進める。
④令和6年度の事業進捗状況	①概ね順調。各実績は下記の通り。 ・令和6年4～6月番組制作数:65回 ・令和6年4～6月ニュースフラッシュコーナー イベント・事業告知数:61回 ②災害時の情報発信について、令和6年5月にとしまテレビと打合せを実施。今後も日程を調整の上、検討を進める予定。
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	①「イベント情報を見て、出かけるきっかけになった」、「生活に役立つきめ細やかな情報が嬉しい」、「地元の情報がよくわかる」等の感想がとしまテレビに届いた。 ②令和元年度の台風19号接近時にショッパチャンネルが放送されていた旨の苦情があった。
⑥上記⑤に対する対応	①今後も引き続きさまざまな情報を放送し、本番組の視聴者が増えるような工夫をする。 ②災害情報を迅速に区民に届けられるようなシステムの構築を検討する。

-----以降の項目は、評価内容を踏まえて管理職が記載してください-----

今後の事業費予算要望（f）	現状維持	根拠	広報媒体の一つとして、テレビ広報は有効であり、引き続き区の情報発信の必要があるため。
今後の事業の方向性（d+e+f） （現状の評価および施策評価を踏まえた評価）	A	※eは該当の事業のみ加味	
上記判断と今後の事業の方向性を踏まえ、令和6年6月以降に向けての対応を記載（改善方法、課題への対応など）			
令和6年度から各課長自らが出演して最新の取り組みを毎月放送し、さらに区が力を入れて広報する「まちづくり」を秋以降に定期的に放送予定、また区民提案制度による事業の進捗を含めた番組を制作するなど、テレビ広報は改善を積み重ねている。制作した番組は、youtube配信なまるちゃんねるを活用し、ほかのSNS媒体からも視聴可能である。今後も各情報発信ツールと連携し一体となって、区の情報発信を行っていく。			